

2022年度（第24期）決算について

2023年5月12日

2022年度決算概況及び2023年度業績予想

(単位：億円)

項目	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度	
			業績予想	対前年
営業収益	15,135	15,016	▲119	+134
営業利益	1,609	1,349	▲260	+271
当期純利益 [※]	1,105	932	▲173	+178
設備投資	2,495	2,492	▲3	▲12
光サービス純増数 (未契約数)	+27万 (1,011万契約)	+14万 (1,025万契約)	▲13万	+1万 (1,040万契約)

※ 当社に帰属する当期純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

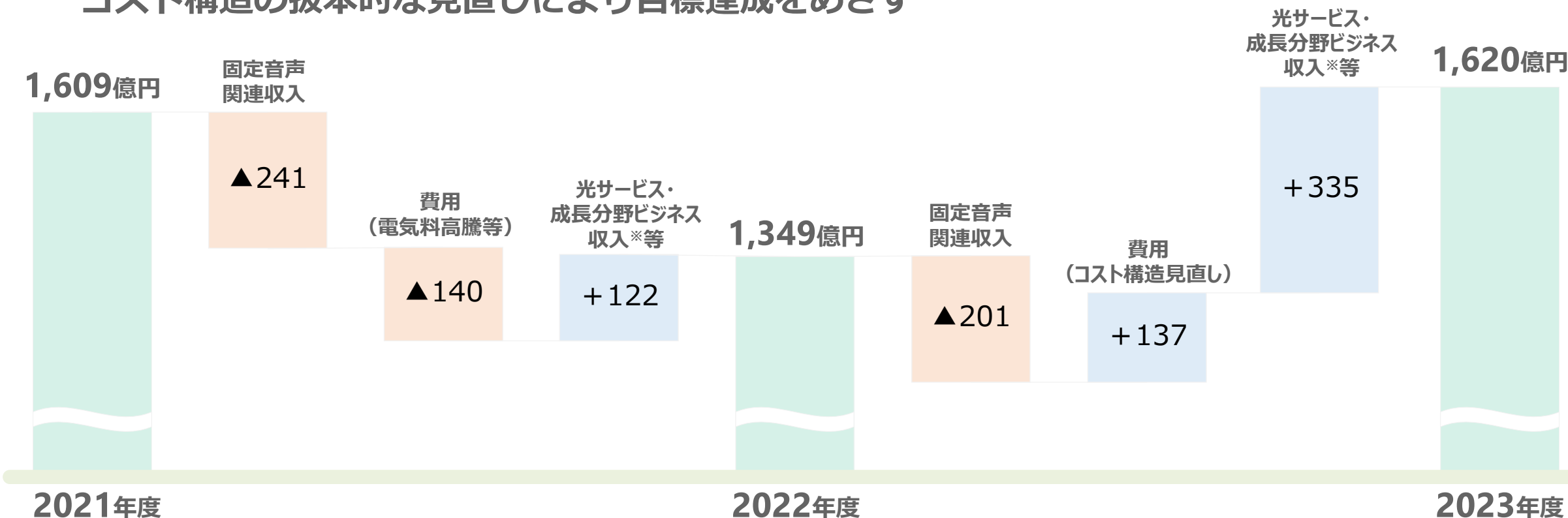
営業利益の状況

2022年度

固定音声収入等の減、電気料高騰等による費用増により減益

2023年度

増収増益へ再チャレンジ。ソリューション／新領域事業などの成長分野ビジネスの拡大、コスト構造の抜本的な見直しにより目標達成をめざす



※ IPパケット通信収入、通信端末機器販売収入、システムインテグレーション収入、その他の営業収入

新たな挑戦

～成長分野ビジネスを通じて社会課題解決に貢献～

教育 DX



地域創生 事業



業務DX

・スマート光
ビジネスWi-Fi

設備インフラ
ビジネス

・設備点検
(MMS・ドローン)

カーボン
ニュートラル

・GXコンサル
・GXソリューション

(2022.10リリース)

EV化を
トータルサポート N.mobi

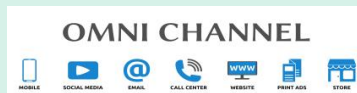
サポート・セキュリティ



バックオフィスコンサル/IPCC



コンタクトセンタビジネス



地域エッジ&データセンタ事業



ネットワーク



(2023.5リリース)

フレッツ光クロス
提供エリアを順次拡大*

- 光クロスエリア拡大 (2023.9予定)
兵庫県 神戸市、滋賀県 大津市、
奈良県 奈良市、静岡県 静岡市、
三重県 津市 等

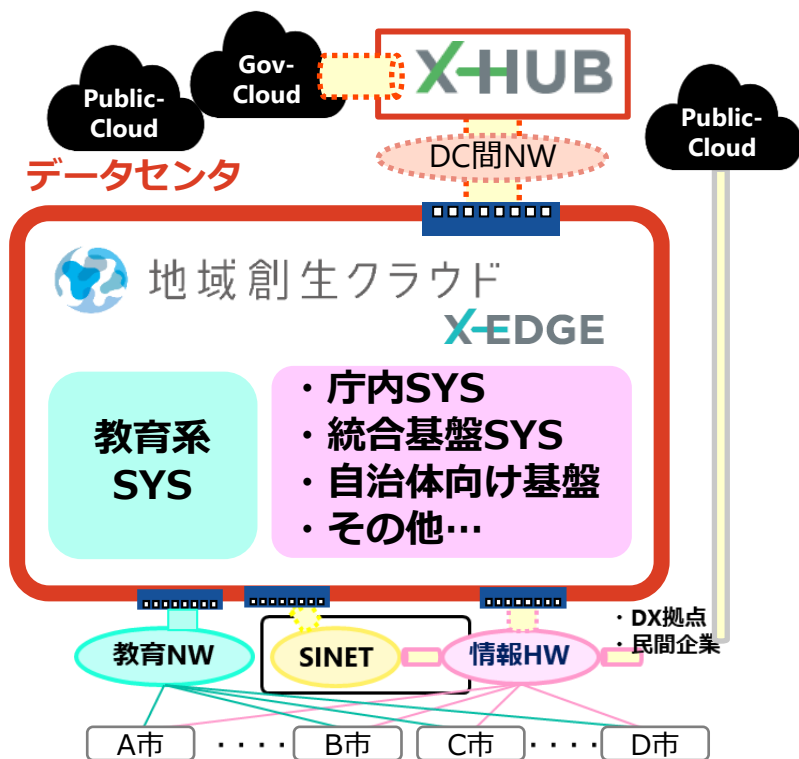
信頼性向上に向けた取組み
の実施

※サービス提供エリアの詳細は5月8日のニュースリリースをご確認ください。

お客様へのトータルソリューション提案

自治体様向け 地域創生クラウド推進

✓ **地域創生クラウド基盤**を中心に各種NWおよびクラウドサービスとの連携強化



大学様向け 教育DX推進

✓ 大学/地域/パートナー連携の優良モデル**“エルID”***を起点とした教育DX推進サポート



顧客接点コンサルティング

✓ **コンタクトセンターのデジタル化を実現するDX基盤を活用し、EX向上・CX創出**

NTTマーケティングアクトProCX

アジア圏初の商用化

感情・音声・テキストの統合AIで
自動品質評価



*名称を変更する可能性があります

ビジネス共創ピッチ



elgana
「ITreview Grid
Award 2023 Spring」
ビジネスチャット部門で
「Leader」を受賞

【第1回募集テーマ】
ビジネスチャットツール
「elgana(エルガナ)」の
連携サービス

【第2回募集テーマ】
設備点検アセットを活用し
た安全・快適なまちづくり

29件応募
▶ 12社ピッチ登壇
▶ 5社採択

未来共創プログラム

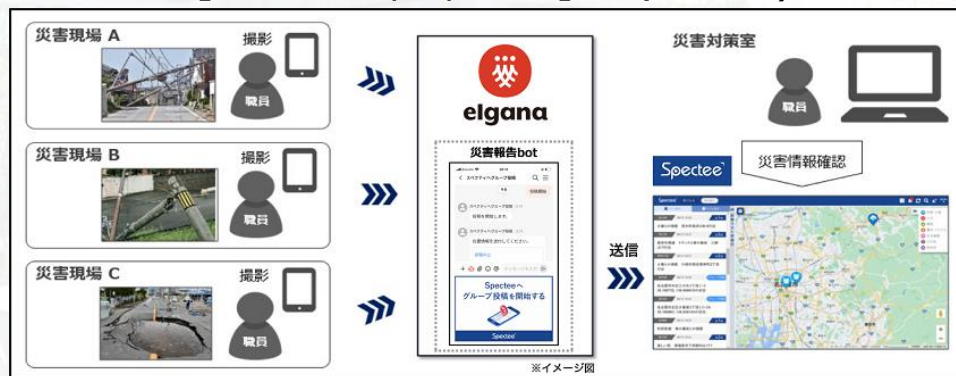


101件応募
▶ 6PJ/10社採択

短期集中（約6か月間）で
社会課題解決・未来社会創造に挑戦

自治体様向け防災DXサービスの提供開始

【サービス化第一号】（2023.4）



4領域
／
6テーマ



実証実験成果報告会開催（2023.3）

▶ 2プロジェクトが
NTT西日本との事業化検証ステップへ

IOWNを活用した新たな利用シーン

～超低遅延通信サービス「IOWN1.0 (APN)」の提供開始～

【吉本興業様とのイベント (2023.3.20)】

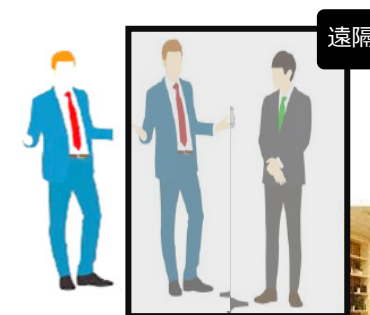
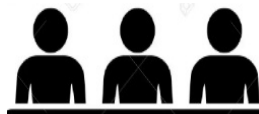
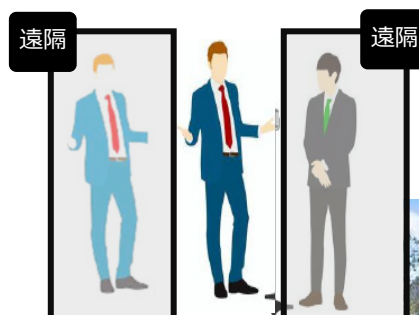
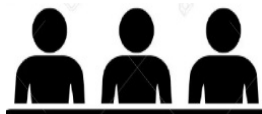
大阪・難波
(よしもと漫才劇場)



大阪・京橋
(QUINTBRIDGE)



大阪・梅田
(LINKSPARK)



3会場を商用APNサービスで繋ぎ、漫才・コント等の遠隔での掛け合いなど
低遅延ネットワークを生かした新たなエンターテインメント体験を提供

ネットワークの信頼性向上に向けた取り組み

～通信サービスの確実かつ安定的な提供～

オペレーションの高度化	通信設備の強化	メーカー・ベンダーとの連携強化	リスク評価体制の強化
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 故障状況の全体が把握できる仕組みの構築 (サービス品質・トラヒックの見える化) ✓ 大規模かつ複雑な故障演習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ネットワーク（伝送路等）の冗長化・強靱化 ✓ 通信ビルの強化 等 (水防・耐震対策等) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 装置検証及び不具合発生時における迅速な復旧に向けた連携強化 ✓ 装置の機能実装等に関する適切な情報提供 (調達条件へ反映) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 検証内容の妥当性について、開発部門以外の第三者組織でリスク評価する体制を強化 (クオリティアシュアランス向上の取り組みを強化)

重要インフラである通信サービスを提供する企業としての社会的責任を果たしていく



「つなぐ」その先に「ひらく」 あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、新たな価値の共創に挑戦します。